

養豚ニュース

「中国四国ブロック養豚セミナー」を開催！

岡山県養豚振興協会は平成22年11月26日（木）～27（金）に倉敷市阿知「アパホテル」で「中国四国ブロック養豚セミナー」を開きました。

このセミナーは、中国、四国各県の養豚関係の協会が持ち回りで開催しているもので、本年は倉敷市内で開催し、今、養豚を取り巻く情勢が非常に厳しい中で現在の低豚価に対応しうる養豚経営について”がテーマでした。

当日は各県の養豚農家の女性達を中心に39名の参加があり、最初の基調講演では（社）日本養豚協会の小磯 孝常務理事から「国内養豚の情勢について」と題して、養豚の現状を詳細に分析された情勢が紹介されました。

次に、優良事例として、岡山県津山市で黒豚の生産から加工販売を実践している（有）日笠農産の日笠瑛十郎代表から「地産地消生産から加工による対面販売」と題して事業の取り組み内容が紹介された。長年、自分の養豚場で生産した黒豚を加工・販売・レストランの営業を行った事業活動の経過が紹介された。

ついで、意見交流会を行い、パネラーに中国四国農政局の浅沼達也課長、（社）日本養豚協会の小磯 孝常務理事、広島県養豚協会会長の陽奥晨司会長、（有）日笠農産の日笠瑛十郎代表からそれぞれの立場で、“現在の低豚価に対応しうる養豚 経営について”の意見を発表してもらい、その後、会場の参加者から意見・感想を述べてもらいました。皆さんの意見としては、エコフィードなどで飼料代を削減して経営効率を高めるとともに養豚家自らが豚肉を売る取り組みを進めることが大切だとの意見が多く、大変厳しい情勢の中で、出席者には新たな気持ちになれたセミナーでした。

